

退職 互助だより

第163号

平成29.7.20

発行

一般財団法人 島根県教職員互助会
〒690-8502 松江市殿町1番地
島根県教育庁福利課内
TEL (0852) 22-6067



「双飾耳花瓶」 船木倭帆作

1987(昭和62)～2012(平成24)年頃 島根県立美術館蔵

「受贈記念 船木倭帆のガラス」 6/14(水)～9/18(月・祝)コレクション展示室3にて展示

目次

○新評議員・新役員の選任について……………	2	○地区会だより 退職互助江津地区会	
○医療補助金等の送金スケジュールについて……………	2	◇認知症の母から学ぶ……………	5
○表紙作品解説……………	2	◇随想「院展の鑑賞」……………	6
○平成28年度事業報告……………	3	◇地区会活動……………	6
○山陰合同銀行の店舗統合に伴う給付金口座の 変更手続きについて……………	4	○園芸欄	
○医療補助金等の請求可能期間について……………	4	◇古典園芸植物「菊」……………	7
○文化講演会のご案内……………	4	○事務局だより……………	8
		◇退職互助事業への新規加入状況について	
		◇人間ドック補助金申込み状況について	
		○お悔やみ……………	8
		○あとがき……………	8

互助会の評議員・役員が決定しました。

6月16日に開催された第19回評議員会において、次のとおり新しい評議員・役員が選任されました。また、第30回理事会において、理事長が選定されました。

評 議 員	
推薦団体名	氏 名
県 教 育 委 員 会	片 寄 進
島 根 県 教 職 員 組 合	小 坂 芳 子
島 根 県 高 等 学 校 教 職 員 組 合	梶 田 悦 伸
島 根 県 教 職 員 協 議 会	吉 野 博 美
島 根 教 職 員 組 合	村 本 知 里
島根県学校事務職員労働組合	白 根 周 治
島 根 県 教 育 庁 職 員 組 合	森 田 敏 弘
島 根 県 小 学 校 長 会	鈴 木 理 生
島 根 県 中 学 校 長 会	園 山 信 夫
島根県公立小中学校教頭会	小 川 俊 行
島根県公立高等学校長協会	福 本 章 弘
島根県公立小中学校事務職員研究会	青 山 悦 子
島根県公立高等学校事務職員協会	永 瀬 弘 之
公立大学法人島根県立大学	小 池 律 雄

島根県国公立幼稚園・こども園長会	井 上 晴 美
退 職 互 助 代 表 者 会	神 本 晃
役員（理事）	
選出団体名又は職名	氏名
理 事 長	県教育委員会教育長 鴨 木 朗
副理事長	県教育庁教育次長 松 本 新 吾
常務理事	県教育庁福利課長 吉 本 祐 子
理 事	島根県教職員組合 村 上 一
理 事	島根県公立高等学校長協会 中 村 訓 子
理 事	退職互助代表者会 園 山 哲 也
理 事	教職員互助会事務局長 多 胡 文 雄
理 事	教職員互助会事務局次長 今 渡 公 男
役員（監事）	
選出団体名又は職名	氏名
島根県高等学校教職員組合	沖 野 浩 之
島 根 県 教 職 員 組 合	木 島 め ぐ み

医療費補助金等の送金スケジュールについて

8月、9月、10月の請求書提出の締切日・送金日は次のとおりです。

締切日	送金日
毎月20日17:15まで（土・日・祝日の場合は前日）	毎月26日（土・日・祝日の場合は翌日）
平成29年8月18日（金）	平成29年9月26日（火）
平成29年9月20日（水）	平成29年10月26日（木）
平成29年10月20日（金）	平成29年11月27日（月）

〈注 意〉締切日は、会員の居住地域を担当する支局及び事務局への到着日です。
請求書の提出先が各支局となっている方が、事務局へ提出されても構いません。その場合は、事務局から担当の支局へ転送し、支局への到着日が書類受理日となります。

表紙掲載作品解説

船木倭帆[1935(昭和10)ー2013(平成25)年]は松江市布志名焼窯元の二男に生まれました。父・道忠、兄・研兒は陶芸家。1958(昭和33)年、大阪の清水硝子製造所へ入社し吹きガラスの修業を始めます。10年後、国画会展出品を契機に出会った佐藤潤四郎の誘いを受け、佐藤が勤める東京の各務クリスタル製作所に入社。翌年、自由な制作の場を求め、同社にいた伊藤学とともに共同窯を築きました。当時、個人製作を目的に自ら窯を持つ作家は珍しく、先駆けとして注目を集めます。1977(同52)年、制作の場を北九州に移し、船木倭帆ガラス研究所を設立。1987(同62)年には広島県福山市神辺町に工房を設立し制作に励みました。

船木倭帆の作品はしっかりとした厚みを持つところが特徴の1つで、毎日の生活で気負いなく使える丈夫さと、日々の生活に彩りを与える美しさを備えています。

本作も、口造りや台座から、ガラスの厚みとそれによる柔らかな曲線、厚いガラスを透ける光の美しさを感じられる作品です。口から底にかけて徐々に透き通る、青いガラスの鮮やかさが目を惹きます。台座と同色のガラスでつけられた双飾耳は、生き生きとした形をもち、花卉のようなその耳の一つ一つに空気が閉じ込められています。日常生活で使用するガラスの美を追い求めた船木の仕事を垣間見ることができる作品です。 山本麻代(島根県立美術館 学芸員)

収益と費用

(単位：千円)

収支	内 訳	平成27年度	平成28年度
収益	拠出金収入	174,152	131,540
	有価証券収益等	56,974	55,558
	責任準備金等取崩益(※1)	0	217,223
	計	231,126	404,321
費用	医療費給付等	155,886	159,433
	厚生事業等	29,308	32,265
	その他事業費	41,109	39,384
	管理費	0	0
	責任準備金等繰入(※1)	582,394	157,449
	計	808,697	388,531
	当期経常増減額	△ 577,571	15,790
	評価損益等(※2)	169,070	△ 127,463
	当期経常外増減額	58	0
	他会計繰出額	△ 35,545	△ 36,188
	当期正味財産増減額	△ 443,988	△ 147,861

平成
28年度

事業報告

一般財団法人島根県教職員互助会の平成二十八年度決算は、去る五月二十六日(金)に開催された第二十九回理事会において承認され、六月十六日(金)に開催された第十九回評議員会で報告されました。
そのうち、教員退職互助事業会計の概要は次のとおりです。

資産と負債(正味財産)

(単位：千円)

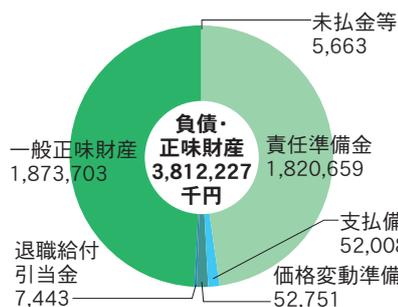
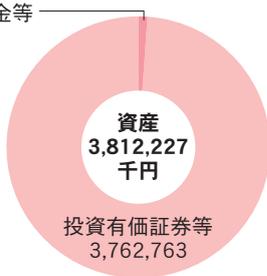
資産・負債	内 訳	平成27年度	平成28年度
資 産	普通預金等	141,656	49,464
	投資有価証券等	3,897,636	3,762,763
	資産合計	4,039,292	3,812,227
負 債 正味財産	未払金等	25,697	5,663
	責任準備金	1,877,572	1,820,659
	支払備金	53,830	52,008
	価格変動準備金	53,789	52,751
	退職給付引当金	6,839	7,443
	一般正味財産	2,021,565	1,873,703
	負債合計	4,039,292	3,812,227

退職互助事業加入者の状況

平成29年3月31日現在

75歳以上	4,478人
70歳以上75歳未満	892人
60歳以上70歳未満	1,435人
47歳以上60歳未満	122人
計	6,927人

普通預金等
49,464



- ※1 責任準備金取崩益繰入額及び責任準備金の増減は、会計処理の変更によるものです。
※2 投資有価証券の評価益はふくみ益であり、実益を伴うものではありません。

退職互助・医療給付事業実施状況

給付区分	決算額(千円)	件数(件)
医療補助金	137,582	39,910
入院見舞金	3,939	163
長寿祝金	12,250	175
弔慰金	2,250	10
計	156,021	40,258

退職互助・厚生事業実施状況

事業名	実施内容	人数等	決算額(千円)
福利増進事業補助金	地区会活動費の助成	全加入者	20,117
退職互助だよりの発行	年間4回発行(4・7・10・1月)、加入者の世帯及び各所属に配布	25,100部	1,920
宿泊利用助成	加入者が島根県教育会館に宿泊したときに補助	580	1,160
県外会員特別事業	県外加入者対象の特別事業	223	446
人間ドック補助事業	人間ドック受診に補助	374	5,245
退職者ライフプラン助成事業	加入者がライフプランに関する活動を実施したときに助成	1,139	3,377
	合計		32,265

山陰合同銀行の店舗統廃合に伴う給付金口座の変更手続きについて

平成29年7月18日（火）から、山陰合同銀行において次の店舗の統廃合等がなされました。

このため、これらの店舗の口座を医療補助金等の給付金等受領口座に指定されている方については、口座の変更が必要となりますが、当会において、山陰合同銀行に確認のうえ変更処理を行いますので、ご承知ください。（該当会員からの手続きは不要です。）

《 対 象 店 舗 》

廃止店舗	統合先店舗
鹿 島 支 店	法 吉 出 張 所
仁 万 支 店	大 田 支 店
久 手 出 張 所	大 田 支 店
片 江 代 理 店	島 大 前 支 店

医療補助金等の請求可能期間について

医療補助金、入院見舞金、弔慰金の請求可能期間については、次のとおりです。
請求漏れのないようご注意ください。

事業名	請求可能期間
医療補助金	受診した月の翌月の1日から起算して3年
入院見舞金	入院した月の翌月の1日から起算して3年
弔 慰 金	死亡した月の翌月の1日から起算して3年

【お願い】

請求可能期間は上記のとおりですが、できるだけ受診された月の翌月に請求書を提出してくださるようお願いいたします。

平成29年度 文化講演会 開催のお知らせ

教職員互助会では、例年公益事業として県出雲部と石見部で交互に文化講演会を開催しております。

今年度は浜田市にて、昨年度に引き続き講師に鎌田實氏をお招きし、開催します。

- 日時 11月12日（日）午後2時20分～4時（予定）
- 会場 石央文化ホール（浜田市黒川町4175番地）
- 講師 かまた みのる 鎌田 實 氏（医師・作家）

入場無料

※事前申込が必要です。



撮影：白鳥真太郎

[申込方法]

氏名、郵便番号、住所、電話番号（携帯可）、希望人数（1名又は2名）を明記の上、はがき、ファックス、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。

[申込・問合せ]

（一財）島根県教職員互助会 担当：曾田
〒690-8502 松江市殿町1番地
TEL.0852-22-6067 FAX.0852-27-2622
電子メール：shimakyogo@w3.dion.ne.jp

【講師プロフィール】

1948年、東京都生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業後、長野県・諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、潰れかけていた病院を再生させた。一方、イラクやチェルノブイリ原発事故の被災地ベラルーシ共和国への医療支援、東北の被災者支援など精力的な活動を行っている。

- 現 在／諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金（JCF）理事長、日本・イラク・メディカルネット（JIM-NET）代表、東京医科歯科大学臨床教授、東海大学医学部非常勤教授
- 出演番組／日本テレビ「news every.」（木曜日）等
- 連 載／週刊ポスト「ジタバタしない（食う・見る・浸る―いのちの洗濯）」毎日新聞「さあ これからだ」日刊スポーツ「鎌田流健康塾」等
- 著 書／ベストセラー『がんばらない』をはじめ、著書多数。

認知症の母から学ぶ

退職互助江津地区会 会長 加戸 省三

私たちが結婚したのは、五十四年前。その時から、母（義母）は井原（邑南町）で、一人で暮らしてきた。

母は洋裁を生業とし、三人の子供を育てあげた。六十歳半ば頃から、収入源に、無人市へ出荷する野菜が加わった。最初は無人市だったが、交代で店番をするようになり、現在は町が援助してくれて、農産物直売所「雲井の里」となっている。

農家の長女として生まれた母は、畑仕事が好きだった。野菜の直売に係わった二十数年間は、母の人生で最も楽しかった時と思われる。

九十歳のころから、ズボンの裾上げの寸法を間違えたりして、仕事が出来なくなっていた。畑仕事の道具が見当たらないと、近所の人に盗られたと言うようになった。

私たちは結婚した時から、親は母一人だった。だから、母と同居することを想定して、トイレと洗面所を備えた部屋を退職時に増築していた。けれども、母も義兄も、長男が親を見ると考えていて、母は九十二歳の時、大阪へ移った。

しかし、大阪で、初めて、長兄家族と住むのは、ストレスだらけの生活だった

に違いない。母の部屋には、テレビも新聞もあつたが、無断で散歩をし始めるようになったそう。迷子になって何回も警察に捜索してもらったという。野菜作りで鍛え上げた足腰は何処までも、シルパーカーを押して行ったようだ。

あまりにも遠くへ出かけるので、シルパーカーを取り上げたという。それがストレスを爆発させたと思われる。風呂には入らないし、食事も家で食べなくなつたそう。デイサービスを可能な限り利用させてもらっていたが、大阪で暮らした十一ヶ月で、ストレスは頂点に達していたようだ。介護判定は「要介護3」に上がっていた。

知らせを聞いて母を大阪から連れ帰ったが、翌々日、衣類をパンパンに詰め込んだポストンバッグを左手に、右手には大きな風呂敷包みを下げて、ひょこひょこ歩いて家を出た。

介護施設に勤める家内の友人に、来てもらい、なだめてもらったが、言うことを聞かない。折りしも、雨が降り出し、風呂敷包みは濡れて重たくなって、担いでいる。

万策極まって、江津警察署に応援を頼

んだら、パトカーで二人のお巡りさんが来てくれた。しかし、いくら説得しても自動車に乗ってくれない。業を煮やしたお巡りさんが、少し、強い口調で「警察に来てもらいますよ」と告げると、母は、ぴよんと、ドアを開けて待っている私の自動車に乗ってくれた。戦前を過ごした母は警察が怖かったのだ。

母が家出を計った原因を家内と考えてみた。

まず、井原に帰るはずが江津だったこと。母の家はすでに解体して、更地になつていることは告げていたが、理解出来ていなかったと思われる。

二つ目に、大阪から帰った翌日、私の行きつけの理髪店で、カットをしてもらったこと。母は顔に水が掛かるのが苦手だった。

三つ目は、洗浄トイレの使い方が分からなかったこと。大阪では、使用後に流さないことが度々あつたそう。ポットチャン便所で暮らした母には抵抗があつたようだ。

四つ目は、「コーヒーの味が分かるの」と、家内が何気なく聞いたこと。

母は、それに強く反発して応えたという。

大阪で、デイサービスに通っていた時、連絡帳に書いてあつた認知症という言葉を見て「私は認知症ではありません」と、激怒したと兄嫁から聞いていた。以来、母に気持ちよく過ごしてもら

ためにあらゆる手立てをした。

シルパーカーを押して歩いた十一回の遠出（最長は江川橋を渡って渡津まで十キロ）で、生活安全課に何度か世話になったが、落ち着いてからの二年間は、家出しなかった。

会話は少なかったが、三人で食卓を囲んだこと。母を刺激するような言動は避けたこと。隣家の畑の三分の一と、少し離れているが、広い畑を借りられたのが良かったのだろうと思う。介護判定は「要介護1」に下がった。

しかし、五年目に入ってから、よちよち歩きで家出をするようになった。溝に落ちないかと見守るのは大変だった。深夜に家出をし、雪が降る中、路上に座りこんでいるところを新聞配達員さんに発見され、凍死を免れてからは、介護施設に世話になったり、心不全による入院を繰り返したりして現在に至っている。

私が認知症になったら、「老いては子に従う」素直な患者でありたい。

それが出来ない病を認知症と言うのだろうか。難しい。



随想

院展の鑑賞会

退職互助江津地区会

幹事 山崎 漳子

昨年五月十八日、江津地区会の行事である再興第百回院展の鑑賞会に参加しました。本格的な日本画の鑑賞は、何年振りだろうと桜江町の今井美術館に着く前からワクワクしました。

美術館に着くと、一階から二階、別館の三階と一時間余り作品を鑑賞して回りました。どの作品も大きく、描き手の思いがさまざまな表現で迫ってくるようでした。別館を出るところには作品の迫力にやや疲れを感じるほどです。

それでも、もう一度会いたい作品が二点あり、本館に戻りました。その作品の一つは、松尾敏男さんの「玄皎想」です。私は入口に近いところから順に作品を見て回りましたが、玄皎想にたどり着いた時、肩の力が抜けたようなほっとした気持ちになりました。真っ白なぼたんの花、墨絵のような色合いで色彩はわずか、額の薄緑、猫の茶・花芯の黄だけです。

大輪のぼたんなのに花びらの柔らかさがその存在を優しくしてくれま

す。ぼたんの香りの下で穏やかな寝顔の

一匹の猫、こちらまで穏やかな気持ちになりました。もう一つは、ワシグサの「山茶花開」です。青緑の背景に映える銀の冠と首飾り、背景と同系色の紺の民族衣装は袖口の赤い花がアクセントになっています。私の好きな全体の色調の中、母と娘の表情がそれぞれの思いを表していました。

たくさん作品の中に、二点も心惹かれるものに出会い嬉しい鑑賞会でした。

退職して全部の時間が自分のものであるはずなのに、自分のための時間はないに等しいような毎日です。でも、この日は、朝、洗濯して掃除を済ませる時間があり、お昼は野外のテントでうどんをいただき、ゆつたりと自分のための時間を過ごすことができました。



地区会活動

退職互助江津地区会

幹事 花田 豊子

当地区会の会員数は、平成二十三年度より毎年減少しており、今年度は四月当初に二百八十九名となりました。活動内容の多くは継続しているものですが、平成二十八年度に実施したものは次のとおりです。

①五月の集い「院展鑑賞」(三十八名)

市内桜江町にある今井美術館で開催された再興第百回院展へバスで出かけ、ゆつくりとすばらしい作品の鑑賞をしました。

②総会・演奏会(七十六名)

総会は、七月二日、パレス和光で開催、その後、ハーモニカ演奏を「わくわくどきどき心地よく」聴きました。

③九月の集い「グラウンドゴルフと懇親会」(三十三名)

九月二十七日、市内桜江町にある「風の国」でGGを楽しみました。会場は、晴雨いずれでもできる施設です。温泉付きなので、ゆつくり利用できるような配慮が今後の課題です。

④十一月の集い「研修旅行」(二十七名)

日帰りのバス旅行で、十一月十日広島県の三原へ出かけました。紅葉の時期のみ境内が公開される佛通寺と美しい庭園の三景園を見学しました。

⑤「互助だより」発行

年度末に締めくくりとなる便りを発行しました。年間の活動報告や会員の作品を掲載しています。

⑥その他「趣味の会・囲碁の会」(十四名)

平成二十九年度は、総会後に落語会を、研修旅行は、すでに廃止が決まっている「三江線」を利用した日帰りを予定しています。また、会員の希望によってグループでの活動に助成をします。

このような活動を円滑に推進するために、役員が手分けをして取り組んでいます。何より三十名の連絡員の皆様のご協力があるとのことと感謝しています。今後、できるだけ多くの方に参加していただけることを願っています。



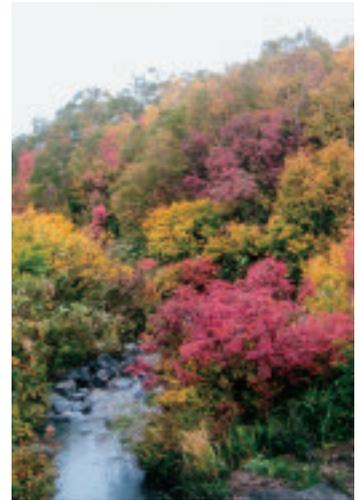
秋の研修旅行 11月10日
(三原・佛通寺と三景園)



白神台地「崩山」

錦秋の陸奥・津軽

昨秋、1993年「屋久島」と同時に日本最初の世界遺産（自然遺産）に指定された、原生的な世界最大級のブナ天然林の白神台地を山行。台地入り口のロッジ泊、12湖を望む「崩山」(940m) 登山。トリカブト（毒草）・ツチアケビ（漢方材料）・タマゴダケ（美味）等が目を楽しませてくれました。混浴の青森深浦海岸「黄金崎不老ふ死温泉」・最高積雪で紹介される「酸ヶ湯温泉」で癒されつつ、岩木山（1,625m）、八甲田山（1,585m）系を巡り、奥入瀬溪谷（14km）を歩きとおしました。



八甲田山麓



トリカブト



ツチアケビ



タマゴダケ



一文字菊
(御紋章菊)



菊の御紋
(十六弁八重表菊紋)

岐阜城公園にて撮影

園芸種「菊」キク

日本には、3百種を超す「野菊」があるとのこと。万葉集には157の植物が詠まれています。そこには園芸種の「菊」はありません。「源氏物語」「古今和歌集」には表記され、奈良時代末から平安時代の初めに中国から入ったとされています。承久年間には後鳥羽上皇によって菊が皇室の紋に定められたといわれています。(岐阜城を訪ねた折の菊花展にて、美濃の一文字菊が御紋章菊との説明がありました)

日本の菊園芸は元禄期以降大きな発展を遂げ、菊大会での入賞苗1本1両から3両3分と投機対象とされ、菊花狂騒時代を迎えたとのこと。現在も、古典菊として嵯峨菊・伊勢菊・美濃菊・肥後菊・江戸菊が栽培・鑑賞されています。

60年もの歴史をもつ松江城での菊花展、県立高校に籍を置かれていた山科孝之氏（昨年逝去）が、昭和62年から平成8年と長きにわたって松江菊花会理事長（ちなみに会長は市長とのこと）としてご尽力なされました。

昨秋の菊花展で、松江農林高校の生徒の特別出品作品を見ました。かつて私が、出雲農林高校での授業にて盆栽菊を作らせるにあたって、菊の土づくりに必携の腐葉土用に、生徒と共に、出雲大社神苑から許可のもと大量の広葉樹の落ち葉を収集したことを思い出しました。

松江の菊花展、市が大きくなったためか以前にもまして、出品数が多くなり、作品も多様になった感じがしました。

参考文献：週刊朝日百科「植物の世界」キクの園芸品種



大輪菊厚物
(松江農林高校出品)



盆栽菊



小菊懸崖風

事務局だより

退職互助事業への新規加入状況について

今年度から、加入についてじっくり検討してもらうため、加入申込み期間を六月末まで延長することにしました。新たに一五五人の方が退職互助事業に加入されました。加入者の内訳は、本人一三九人、配偶者一六人で加入率（四十七歳以上の退職者に対する加入者の割合）は五二・三％でした。加入者数は、昨年度を一八人上回り、加入率も五割に達することができました。

人間ドック補助金申込み状況について

人間ドック補助事業は、平成二十一年から実施しています。当初一五〇人の予算で始まりましたが、会員の皆様からのご要望が多く、年々予算の増額を計っております。今年度は、教互の会員を対象に三〇〇人分（四五〇万円）、また県互二の会員を対象に、四〇人分（六〇万円）の予算措置を講じました。

しかしながら、教互にあっては今年度も昨年を一五・八％上回る、五三五人もの方からの申込みがありました。今後の辞退

される方の数を見込んで、残念ながらすべての方の希望に沿えない結果となりました。ご了承ください。

また、五月二〇日以降に退職互助事業に加入を申込みされた方は、今年度の人間ドック補助金の申込み期限に間に合わないことになりました。悪しからず。

五月中に補助対象者の決定通知をお送りしましたが、ドック受診後は請求手続きを忘れずにお願います。また、補助対象者の方で都合により受診できなくなった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。補助対象にならなかった方を補充して決定できる場合がありますのでよろしくお願います。

なお、今年度新たに加入された方には、案内通知を個別にお届けしましたが、二年目以降は、「退職互助だより」のご案内となりますので、くれぐれもお見逃しのないようお願いいたします。



謹んでご冥福をお祈りいたします

若松 定美 様 (海士町) 28.11.28 (89歳)	片山 文雄 様 (飯南町) 29. 4.16 (87歳)	武智 麗子 様 (浜田市) 29. 6. 2 (88歳)
錦織 勇 様 (松江市) 29. 1. 7 (74歳)	岩井 顕雄 様 (出雲市) 29. 4.16 (83歳)	江山キエ 様 (津和野町) 29. 6. 6 (82歳)
安達 美子 様 (羽曳野市) 29. 1. 9 (91歳)	石飛 宏明 様 (出雲市) 29. 4.24 (73歳)	川井 睦 様 (米子市) 29. 6.11 (86歳)
右田 和子 様 (益田市) 29. 1.12 (95歳)	前廣 安豊 様 (隠岐の島町) 29. 4.27 (70歳)	錦織 誠 様 (出雲市) 29. 6.12 (72歳)
陸浦 正哉 様 (松江市) 29. 1.31 (90歳)	宮田 明子 様 (益田市) 29. 4.28 (64歳)	森脇 博 様 (江津市) 29. 6.17 (87歳)
山崎 昭 様 (出雲市) 20. 2.19 (89歳)	入澤 忠治 様 (雲南市) 29. 5. 1 (85歳)	成相 博 様 (出雲市) 29. 6.18 (91歳)
上里 和子 様 (出雲市) 29. 2.27 (91歳)	千原富美子 様 (奥出雲町) 29. 5. 3 (81歳)	常松 善信 様 (出雲市) 29. 6.20 (79歳)
坂本 博 様 (松江市) 29. 3.11 (94歳)	足立 耕 様 (安来市) 29. 5. 8 (98歳)	森 善雄 様 (神戸市) 29. 6.22 (89歳)
後藤 育子 様 (出雲市) 29. 3.18 (74歳)	藤井 俊矣 様 (松江市) 29. 5.11 (90歳)	三澤 忠義 様 (浜田市) 29. 6.22 (87歳)
菅原 敏夫 様 (邑南町) 29. 3.29 (95歳)	多々納利雄 様 (出雲市) 29. 5.12 (91歳)	向田 友義 様 (浜田市) 29. 6.23 (88歳)
鎌田 睦治 様 (出雲市) 29. 3.30 (83歳)	大屋 政子 様 (益田市) 29. 5.13 (95歳)	池田 敏雄 様 (出雲市) 29. 6.24 (90歳)
園山 幸枝 様 (出雲市) 29. 3.31 (97歳)	川本 令一 様 (雲南市) 29. 5.15 (89歳)	永田富美子 様 (出雲市) 29. 6.24 (87歳)
菊井 國雄 様 (益田市) 29. 3.31 (88歳)	山崎 隆司 様 (出雲市) 29. 5.16 (79歳)	吉野 稔 様 (松江市) 29. 6.25 (82歳)
渡部みゆき 様 (奥出雲町) 29. 4. 1 (74歳)	佐藤 昌三 様 (雲南市) 29. 5.19 (92歳)	吉賀 和子 様 (邑南町) 29. 6.25 (87歳)
野上 幸子 様 (益田市) 29. 4. 2 (97歳)	金坂 富江 様 (松江市) 29. 5.20 (90歳)	立花 嘉治 様 (出雲市) 29. 6.29 (83歳)
中原 健次 様 (松江市) 29. 4. 7 (91歳)	佐々木季治 様 (松江市) 29. 5.20 (85歳)	
山岡 清男 様 (松江市) 29. 4.11 (83歳)	大森久美子 様 (出雲市) 29. 5.22 (66歳)	
桜井 弘吉 様 (隠岐の島町) 29. 4.12 (85歳)	渡邊 淑郎 様 (松江市) 29. 5.28 (83歳)	
森岡 勲 様 (大田市) 29. 4.16 (91歳)	太田恵美子 様 (松江市) 29. 5.29 (89歳)	

本欄は、異動届が提出された方で、了承された方のみ掲載しています。

あ と が き



♪卯の花の匂う垣根に時鳥早も来鳴きて：橘の薫る軒端の窓近く螢とびかいて：さみだれのそそぐ山田に早乙女が裳裾濡らして：♪

この頃、童謡を歌う機会が度々あります。なんて素敵！と、歌詞に魅せられてしまいます。最近、ラインやメール等、文字で伝える手段が多様になってきています。先日、「それな」と返信がありました。「え？何」と思いました。「そうだね」の略だそうです。言葉は変化しています。スピードが要求される近頃だからこそ、文字を読んで、味わい、情景を想像し、はっと和むひと時を持ちたいものです。

さて、江津地区会からは、日々の暮らしを懸命に、前向きに過ごしている様子や自分の受け取った感覚をそのまま文にし、読む人の想像を掻き立ててくれるような玉稿をいただきました。何が心の奥で動く気がしました。

脳科学者の茂木健一郎氏は、「心が揺れ動くときは、一十億の神経細胞の間を、神経伝達物質が走り回っている状態だ（PHPより）と言っています。きっと脳が活性化しているのでしょう。

表紙の工芸品の思わず光に透かしてみたくなるような青い色や一回見たら忘れられないようなフォルムに見入ってしまいます。また、県の事業の様々な取り組みに納得したり、行ってみようと思ったりすることもあつて、遠く津軽を歩かれた様子も、様々に思いを巡らせることができます。

一瞬でも気を留める暮らしでありたいと思います。

今夏も、猛暑が予想されます。どうか、お健やかに過ごしてください。(岡)



「退職互助だより」は環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙に、ベジタブルオイル(植物油)インキを使用して印刷しています。

【ホームページURL】 <http://www.shimakyogo.jp/>